

# 釈放後の日常 ありのままに

一家4人殺害事件で死刑確定後、再審開始決定で48年ぶりに釈放された袴田巖さんの日常を、約1年半にわたって記録したドキュメンタリー映画「袴田巖 夢の間の世の中」が公開されている。



映画「袴田巖 夢の間の世の中」の一場面

## 袴田さんの映画が公開

も、そのまま撮った。一方、当たり前前の日常を送る中で、その表情は徐々に穏やかになっていく。公開前に東京都内で開かれた完成試写会には金聖雄監督と秀子さんがあいさつに立った。金監督は「釈放当初の巖さんは本当に表情がなく、どうなるかと思っただが、時間とともに変わっていき、再生していく姿を映画に定着できたと思う」。秀子さんは「ありのままの巖をしつかり捉えてくれた。良い映画です」と満足そうに話した。

ユーモアを含んだ優しいタッチの映画と同様、会場は笑いが絶えない雰囲気。金監督は「完成した映画を袴田さんに見てもらい、恐る恐る感想を聞いたら『俺はあんなにヨボヨボじゃない』と。笑いながら文句を言う感じで、どこかうれしそうでした」と報告。秀子さんも「照れくさかったのかな」と笑顔だった。問い合わせはキムーンフィルム、電話042(316)11007。